

用語解説

チャレンジプランに記載されている用語のうち、専門的な用語、十分に定着していない用語などについて、その解説を記載しています。

なお、用語の右側に付しているページ番号は、以下の用語が出てくる頁を示しています。



- **ICT** 【P66, 96, 120, 123, 179, 194】
「Information & Communications Technology」の略。コンピュータや情報通信ネットワークなど情報通信技術のこと。
- **アウトソーシング** 【P55】
自社の業務のプロセスの一部を継続的に外部の専門企業に委託すること。
- **空き家バンク** 【P86, 179】
空き家所有者等から空き家に関する登録の申し込みを受け、登録を行った空き家の情報を公開するとともに、利用登録を行った者に対し、空き家の紹介を行う仕組みのこと。
- **新たな地域コミュニティ組織** 【P93, 94, 179】
→「地域コミュニティ組織」を参照。



- **生きた教材** 【P183】
給食時間や各教科等における食に関する指導において、栄養バランスのとれた食事内容や食についての衛生管理など体験を通して学ばせるとともに、見る・食べるといった行為を通じて興味・関心を引き出すため、学校給食を教材として活用すること。
- **命の大切さを学ぶ教室** 【P192】
県教育委員会等の関係機関と連携し、中・高校生を対象に犯罪被害者等が講演者となって、子どもを亡くした親の思いや生命の大切さ等を直接語りかけることで、犯罪被害者等への配慮や協力意識の涵養に努めているもの。
- **医療機能の分化・連携** 【P28, 31, 146, 147, 150】
各医療機関が担っている医療機能を明確化するとともに、それぞれの医療機能を踏まえた役割分担を行い、連携体制を構築すること。
- **インキュベーション** 【P51, 73】
創業間もない起業家や新分野へ展開しようとする起業家をサポートし、その成長や事業化を促進すること。
- **インクルーシブ教育システム** 【P123】
障害のある者がより一層、参加・貢献していくことができる「共生社会」を目指すため、その能力等を可能な限り発達させることができる教育の場を提供し、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みのこと。障害者の権利に関する条約第24条でうたわれている。
- **インターンシップ** 【P121, 177, 183, 187】
大学生や高校生などが働くことに関する理解を深めるため、在学中に、企業等で一定期間、就業体験を行うこと。
- **インバウンド** 【P78】
海外から日本へ訪れる外国人旅行のこと。



- **受入地域協議会** 【P96】
農林漁家や、市町、関係機関(体験交流施設運営主体、J A、商工会、旅館業経営者等)で構成し、農山漁村生活体験ホームステイの受入れをコー

ディネートする組織のこと。ホームステイを希望する学校等との調整のほか、受入家庭の確保、地域資源を生かした体験交流プログラムの開発・実施、安全衛生に関する指導などを行う。

- **運動遊びプログラム** 【P183】
運動習慣の確立に重要な幼児期及び小学校低学年に、子どもに経験させたい多様な動きや遊びを紹介した映像資料のこと。幼稚園や小学校に電子媒体で配付し、小学校の体育授業や遊び時間の充実を図る。
- **運動器症候群(ロコモティブシンドローム)** 【P154】
加齢に伴う骨、関節、筋肉等の運動機能の低下により、介護が必要になったり、寝たきりになったりする可能性の高い状態のこと。



- **衛生管理体制認証制度(畜産)** 【P66】
「やまぐち高度衛生管理農場推進協議会」が定めた「衛生管理基準」を満たす畜産農場の取組を認証する山口県独自の制度のこと。
- **衛生管理の高度化** 【P158】
食品の製造又は加工などの過程において、食品に起因する衛生上の危害発生防止と適正な品質確保を図るための措置が総合的に講じられ、衛生管理及び品質管理の確実性及び信頼性が向上すること。
- **栄養教諭** 【P183】
学校における子どもたちに対する「食に関する指導」と「学校給食の管理」を一体的に行う職種のこと。
- **ALT** 【P119, 183】
Assistant Language Teacher の頭文字をとったものであり、小・中・高等学校等において日本人教員をサポートしながら英語等の授業を行う外国語指導助手のこと。
- **エコ・ファクトリー** 【P105】
産業廃棄物の発生抑制や再資源化等に一定の期間以上継続して取り組み、成果を上げている県内の事業所を認定し、循環型社会の形成を推進する山口県独自の制度において認定された事業所のこと。
- **エコやまぐち農産物** 【P61, 66, 157】
化学農薬・化学肥料を不使用又は県基準より50%以上削減して生産した農産物を認証する山口県の制度で、国の「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」との整合を図ったもの。
- **SNS** 【P73, 78, 115, 175, 176】
ソーシャルネットワーキングサービス(Social Networking Service)の略で、登録された利用者同士がインターネット上で交流できる会員制サービスのこと。



- **卸売市場間連携** 【P174】
卸売市場間において商品の融通や情報共有等の連携を進めることにより、県産農産物の安定供給につなげるとともに、卸売市場の機能強化を図る

取組のこと。

か

- 海外ビジネス研究会 【P53】**
企業、産業支援機関その他の団体等を会員とする研究会のこと。企業が海外展開を行う上で必要となる情報の収集・提供や、会員相互の交流・連携の場の創出を通じて、海外展開による県内中小企業の成長・発展に寄与することを目的とする。
- 海岸保全施設 【P141, 142, 143, 144, 188, 189】**
高潮や津波、波浪による災害や海岸侵食を防止するため、海岸線に設置する施設のこと。堤防、護岸、離岸堤、消波ブロック、水門などがある。
- 外来種 【P102, 106】**
国外から人為的(意図的又は非意図的)に導入されることにより、本来の分布域を超えて生息又は生育することとなる生物種のこと。
- 改良アユ 【P175】**
冷水病に耐性を持ち、河川への定着性が強い性質を持つアユのこと。県内の特定の河川において遡上した天然アユから採卵・育成したもので、これらの性質を持つ人工種苗を放流することで生産を拡大している。
- 課題解決型少人数指導 【P122】**
各地域や学校の実態を踏まえ、児童生徒の学習状況に応じた少人数による授業、チームティーチング、専科的な指導など、きめ細かな指導を取り入れて、学校全体で組織的・積極的に課題解決や授業改善を進める学校に教員を配置し、児童生徒の学力向上を推進する取組のこと。
- 学校関係者評価 【P184】**
保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価のこと。
- 家庭教育アドバイザー 【P184】**
地域における家庭教育支援の充実のために、子育てや家庭教育について相談に応じることができるよう、県教委が養成している地域の指導者のこと。
- 家庭教育支援チーム 【P119】**
学校や地域、行政機関等と連携しながら、子育てや家庭教育についての相談活動や講座等を実施し、子育てや家庭教育をサポートするために市町等で編成されたチームのこと。
- 環境学習 【P103, 181】**
自然や環境を大切にすることを育み、環境保全やより良い環境を創造するために主体的に行動する実践的な態度や能力を育成することをめざして行われる学習のこと。
- 環境マネジメント 【P181】**
組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組むこと。
- がん総合相談窓口 【P151】**
医療のみならず、仕事や生活に関することなど、がんに関する不安や悩み全般について対応するため、県が病院外に設置した相談窓口のこと。
- 緩和ケア 【P151, 189】**
がんに伴う体と心の痛みを和らげ、生活の質を向上させる取組であり、がんと診断された時から実施すべきもの。

き

- キー局 【P72】**
日本の民間放送における系列の中心となる放送局のこと。

- 基幹的集落 【P93】**
旧小学校区など複数の集落からなる一定の生活圏内において、行政機関や医療、教育、生活サービス関連の施設が立地していたり、交通の要衝や道路の結節点であることなどにより、その生活圏の中心となっている集落のこと。
- 企業局第3次経営計画 【P39】**
県企業局が平成25年度から平成30年度までを計画期間として策定した経営計画のこと。電気及び工業用水道事業について、「安定供給体制の確保」、「安定経営の確保」、「地域・環境への貢献」を経営の基本方針として掲げ、計画的かつ効率的に事業を実施することとしている。
- 企業内サポーター 【P112】**
企業内において、未婚社員の結婚の相談や、やまぐち結婚応援団が実施する出会いの場のイベント等の情報提供などの支援をしてくれる方のこと。
- キジハタ 【P61, 66, 67, 175】**
建網漁やかご漁など、主に沿岸域で操業する漁業で漁獲される高級魚の名前。定着性が強く市場価格は高いが、漁獲量が少ないことから、キジハタ資源を積極的に造成するため、平成24年度から10万尾の種苗放流を行うとともに、平成25年度から全長30cm未満の採捕を禁止している。
- 技能検定 【P50, 177】**
労働者の有する技能の程度を検定し、これを公証する国家検定制度のこと。労働者の技能と地位の向上を図ることを目的に、職業能力開発促進法に基づき実施されている。
- 技能五輪全国大会 【P56, 177】**
全国の青年技能者(23歳以下)が、それぞれの仕事の技能を競う競技大会のこと。
- キャリア教育 【P116, 117, 121, 183】**
一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことを促す教育のこと。
- 救命救急センター 【P152】**
二次救急までで対応できない重症及び複数の診療科領域にわたる重篤な患者を24時間体制で受け入れて医療を行う三次救急の医療機関のこと。
- 教職員人材育成基本方針 【P184】**
キャリアステージ(教職経験)ごとに求められる教員の役割や資質能力を示すとともに、本県教育を担う人材の育成に向けた取組の方針を示したもの。
- 競争的資金 【P44, 45, 47】**
資源配分主体が広く研究開発課題等を募り、提案された議題の中から、専門家を含む複数の者による科学的・技術的な観点を中心とした評価に基づいて、実施すべき課題を採択し、研究者等に配分する研究開発資金のこと。
- 局部改良 【P87】**
道路の急カーブを緩くしたり、狭いところを部分的に広くしたりして走りやすくすること。
- 漁場形成予測技術 【P66, 175】**
本県の重要魚種であるマアジやイワシ類、ケンサキイカなどの漁場ができる海域や時期などを予測し、その情報を漁業者に提供する技術のこと。近年、海水温の上昇等の影響により、これらの魚種の漁場形成が不安定になっていることから、漁業者の効率的操業や経営安定のために有益な技術である。

- 緊急輸送道路** 【P138, 188】
地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に実施するため、高速自動車道、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路並びにこれらの道路と知事が指定する防災拠点を連絡する道路のこと。
- ☐**ク**
●**クラスター構想** 【P40, 44, 45, 124, 172】
クラスターとはブドウの房のことで、ブドウの房のように企業・大学・自治体などが連携して新産業を産み出すための構想のこと。
- グローバル人材** 【P182】
国際的な視点で物事を考え行動できる人材のこと。日本人としてのアイデンティティや日本の文化に対する深い理解を前提として、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神を身に付けることが必要。
- ☐**け**
●**結婚・子育て応援デスク** 【P112】
若い世代が希望を叶え、安心して結婚し、妊娠・出産、子育てができるよう支援する総合的な相談窓口のこと。
- 県シルバー人材センター連合会** 【P133, 187】
高齢者にふさわしい仕事を、企業・家庭・公共団体等から請け負い、センターの会員である高齢者に提供する県内のシルバー人材センターを会員とする団体のこと。
- 建設産業** 【P27, 48, 49, 58, 174】
建設工事の完成を請け負う建設業及び設計業等建設業に関連する産業の総称。社会資本の整備・維持、災害時の応急対策・復旧対応等を行い、山口県では就業者の約一割を占めている。
- 県庁中山間応援隊** 【P94】
厳しい環境にある中山間地域において、県の職員自らが現地に赴き、地域の活性化に向けた取組を直接支援するために創設した組織のこと。知事を応援隊長とし、希望する県職員等で構成。
- ☐**か**
●**広域緊急援助隊** 【P188】
大規模災害発生時に直ちに被災地に派遣され、被災者の救出救護、緊急交通路の確保、身元確認の支援等の活動を行う警察の部隊のこと。
- 高規格幹線道路** 【P38, 74, 87】
一般的に自動車が高速で走れる構造で造られた自動車専用道路のこと。山口県内では、中国縦貫自動車道や山陽自動車道、関門自動車道、山陰自動車道(山陰道)を指す。
- 公共施設等総合管理計画** 【P168, 194】
将来の財政負担の軽減・平準化を図るため、今後の公共施設等の計画的・効率的な管理に向けた方針を定めるもの。
- 高校生ボランティアバンク** 【P121】
正式名称は、「山口県高校生ボランティアバンク」。ボランティア活動を希望してバンクに登録した高校生と、高校生ボランティアを必要としている受入先とのマッチングを山口県教育委員会が行う制度。
- 工水利用者協議会** 【P39】
工業用水受水企業相互の緊密な連携を図ることなどを目的に、受水企業の互譲の精神を踏まえて各水系ごとに組織された協議会のこと。現在、県内に7つの組織がある。(岩国、柳井、周南、防府、厚東川、厚狭川、木屋川)
- 交通安全定期診断** 【P161】
自動車学校と連携して高齢ドライバー対象の実車講習を行い、高齢ドライバーの交通安全意識の高揚を図るもの。
- 交通結節点** 【P85】
異なる交通手段(場合によっては同じ交通手段)を相互に連絡し、乗り換えや乗り継ぎを行う場所のこと。
- 高等産業技術学校** 【P56】
職業能力開発促進法に基づき、県が下関市と周南市に設置している職業能力開発校のこと。普通職業訓練で長期間及び短期間の課程を実施。
- 高度衛生管理型荷捌き所** 【P66, 68, 175】
漁港で水揚げした魚介類の選別・箱詰・施氷・出荷等を行う施設である荷捌き所のうち、食中毒菌や異物等の混入防止のため国が示す衛生管理基準を満たす各種対策がとられた荷捌き所のこと。
- 高度衛生管理工程** 【P158】
食の安心・安全推進条例に基づく、「衛生管理の基準」を満たしていると知事が認定した製造工程のこと。事業者による衛生管理向上の取り組みを促進する制度となっている。
- 高度急性期** 【P150】
患者の状態の早期安定化に向け、医療スタッフや医療設備、医薬品等の医療資源の集中的な投入を必要とする期間のこと。
- 交流ビジネス** 【P96】
地域外からの来訪者への商品・サービスの提供を通じて、農山漁村地域の所得向上を図る経済活動のこと。農林水産物の直売や農山漁家民宿、農漁家レストラン等の運営のほか、地引網やそば打ち、川下り、工芸品づくりなど、地域の資源や特性に応じた体験交流プログラムの提供、さらにはこれらを組み込んだ旅行企画等も行われている。
- コーディネーター** 【P184】
一般的には、調整する人。ここでは、各小・中学校区内の教育支援活動等の連携についての調整の他、学校や学校関係者、地域の団体等との連絡調整、地域の協力者の確保・登録・配置、活動プログラムの企画等を行う者のこと。
- 国際協力機構(JICA)** 【P187】
日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関のこと。開発途上国への資金援助や技術協力、ボランティア派遣などの国際協力を行っている。
- 国際拠点港湾** 【P36, 37, 173】
国際戦略港湾(東京港、横浜港、川崎港、大阪港、神戸港)以外の港湾であって、国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾のこと。全国に18港あり、山口県では徳山下松港、下関港が該当。
- 国際フィーダー航路** 【P36】
欧米等との基幹航路を有する国際コンテナ戦略港湾(阪神港[神戸港、大阪港]、京浜港[東京港、横浜港、川崎港])と国内各港を結ぶ内航コンテナ船を利用した航路のこと。外貿(外国貿易)コンテナを取り扱う。
- 国土強靱化** 【P141, 188】
どのような災害等が発生しても、「致命的な被害を負わない強さ」と「速やかに回復するしなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会を構築すること。
- 子育て世代包括支援センター** 【P112】
妊娠・出産・子育て等、子育て世代の支援を切れ目なく継続的に行うために市町が設置するワンストップ拠点のこと。
- 子育て文化** 【P112, 182】
子どもや子育てを社会全体で愛情を持ってやさ

しく見守り、支える社会を共に力を合わせて取り組み、その積み重ねが、風土や住み良さとして、親から子へ、子から孫へと受け継がれていく山口県らしい子育ての文化のこと。

●**厚東川水系濁水対策協議会** 【P39】

宇部・山陽小野田地区の濁水対策について、県工業用水を受水している企業と行政が連携・協働して諸課題や方策等について協議・検討するため、平成20年に設置された協議会のこと。会長は、厚東川工業用水利用者協議会会長(1)、その他構成員として、企業(5)、行政(8)で構成。

●**個別施設計画** 【P143, 189】

施設ごとの長寿命化計画のこと。

●**コミュニティ・スクール**

【P117, 118, 122, 184, 185】

学校と保護者や地域の方が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みのこと。保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられている。

●**コミュニティ・ビジネス** 【P96, 97, 179】

地域住民自らが、地域の課題解決に向けた公益的な活動を、地域資源を活用しながら、継続的な事業の形で展開していく新たなビジネスのこと。

●**婚活サポーター** 【P112】

お見合いのセッティングや、交際のフォローをするボランティアのこと。

●**コンテナターミナル** 【P36, 37】

コンテナの海上輸送と陸上輸送を結ぶ接点となる港湾施設の総称。

●**コンテナヤード** 【P37】

本船に積み卸すコンテナと輸送用のシャーシ(コンテナを載せて移動させる台車)を受け渡したり保管したりする場所のこと。コンテナターミナルの大半の面積を占める。



●**在京・在阪ネット** 【P72】

東京圏または大阪圏に在住、就職している、山口県ゆかりの組織、個人のつながりのこと。

●**最終処分量** 【P101, 102】

廃棄物を最終処分した量のこと。埋立処分量と海洋投棄量の合計を指すが、海洋投棄が認められているものは非常に少ないため、一般的には埋立処分量を指す。

●**再生可能エネルギー**

【P27, 30, 42, 43, 45, 60, 68, 101, 102, 104, 172, 175, 180】
太陽光や太陽熱、風力、水力、バイオマスなど、一度利用しても比較的短期間に再生が可能で、資源が枯渇しないエネルギーのこと。発電時や利用時に二酸化炭素をほとんど排出しない優れたエネルギー。略称は「再エネ」。

●**酒米** 【P61, 66, 67, 175】

日本酒を醸造する原料、主に麴米(こうじまい)として使われる米のこと。正式には酒造好適米と呼ばれ、特有の品質が求められるため、通常の食用米とは区別される。山口県では、「山田錦」、「西都の雫」などが栽培され、県内の酒造メーカーで醸造されている。

●**砂防堰堤** 【P142, 189】

土石流など流出土砂の貯留や調整、溪岸の保全や河床の不安定土砂の移動の抑制などを目的として設置される土砂貯め用のダムのこと。

●**砂防設備** 【P189】

土石流など流出土砂の貯留や調整などを目的として設置される砂防堰堤や、溪流の河床や溪岸の浸食などを防止するため設置される溪流保全工などの設備の総称。

●**産業廃棄物税** 【P101, 165】

産業廃棄物の排出抑制、再生利用等による減量、その他その適正な処理の促進に関する費用に充てるため、平成16年4月から山口県が条例に基づき独自に課税している税目のこと。県内産業廃棄物最終処分場への産業廃棄物の搬入に対し、1トン当たり千円で課税。同様な税目は本県を含め27道府県で導入(平成26年4月現在)されている。

●**三次救急** 【P148, 189】

二次救急まででは対応できない重篤な患者への医療提供のこと。救命救急センターや高度救命救急センターによって行われる。



●**JGAP** 【P61, 66, 157】

「工程管理に基づく品質保証」の考え方を生産現場に導入し、食品事故等を未然に防ぐための生産工程管理の手法のこと。第三者機関の審査により、JGAPが正しく導入されていることが確認された農場は、JGAP認証が与えられる。

●**ジオパーク** 【P78, 176】

地球科学的に重要な地質遺産の保護を図りつつ、ジオ(地球)に親しみ、ジオツーリズム(ジオを学ぶ旅)を楽しむ場所のこと。H26年12月現在、日本ジオパーク委員会が認定する「日本ジオパーク」は国内36地域で、このうち7地域が、世界ジオパークネットワークから「世界ジオパーク」として認定されている。

●**自己評価** 【P184】

自校の教育活動その他の学校運営の状況について、教職員が行う評価のこと。

●**システム全体最適化** 【P194】

県の情報システム全体を、より一層効果的で効率的に整備・運用するための取組のこと。

●**次世代自動車** 【P45, 104, 172】

ハイブリッド自動車(HV)、電気自動車(EV)、プラグイン・ハイブリッド自動車(PHV)、クリーンディーゼル自動車(CDV)、天然ガス自動車(CNG車)、燃料電池自動車(FCV)等のこと。

●**施設整備10か年計画** 【P143, 188, 189】

工業用水の安定供給のため、工業用水道施設の劣化状況を的確に把握した上で更新時期及び事業費の平準化を図ることにより、施設の老朽化・耐震化対策を計画的、重点的に推進することを目的として、県企業局が策定した10か年計画のこと。

●**自然共生社会** 【P106】

生物多様性が適切に保たれ、自然の循環に沿う形で農林水産業を含む社会経済活動を自然に調和したものとし、また、様々な自然とのふれあいの場や機会を確保することにより、自然の恵みを将来にわたって享受できる社会のこと。

●**自然資源** 【P106, 181】

天然資源ともいう。地形、鉱物、水などの無生物や、植物、野生鳥獣、魚、サンゴなどの生物の資源などがある。

●**ジビエ** 【P62】

シカ、イノシシなど狩猟の対象となり食用とする野生鳥獣、又はその肉のこと。

●**社会的養護** 【P110, 114, 182】

保護者のない児童や保護者に監護させることが

適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと。

- **周産期医療** 【P28, 110, 113, 146, 152, 182】
周産期(妊娠満 22 週から生後 7 日までの期間)における母親や胎児・新生児に対する高度で専門的な医療のこと。
- **重層的な見守り体制** 【P91, 94, 148, 153, 179】
一人暮らしの高齢者等に対し、行政や住民、民生委員・児童委員、事業者等の多様な主体が協働して、日常的な見守りや声かけ、生活援助などを行う仕組みのこと。
- **住宅セーフティネット** 【P178】
住宅市場の中で独力では住宅を確保することが困難な方々が、それぞれの所得、家族構成、身体状況等に適した住宅を確保できるようにする仕組みのこと。
- **周南地区工業用水対策協議会** 【P39】
周南地区における工業用水の諸課題とその対策について、県工業用水を受水している企業と行政が協議・検討するため、平成 25 年に設置された協議会のこと。会長は、周南地区工水利用者協議会会長(1)、その他構成員として、企業(5)、行政(11)で構成。
- **重要港湾** 【P36, 37, 173】
国際戦略港湾(全国 5 港)及び国際拠点港湾(全国 18 港)以外の港湾であって、海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾のこと。全国に 102 港あり、山口県では岩国港、三田尻中関港、宇部港、小野田港が該当。
- **集落営農法人** 【P60, 61, 64, 175】
1～数集落を単位に、関係農家の農地利用の合意形成のもと、集落内農地の相当面積を集積し、集落内の相当数の農家が参加して効率的な営農を実践する法人のこと。
- **集落機能** 【P89, 93】
集落が有するとされる、冠婚葬祭など地域住民同士が相互に扶助し合いながら生活の維持・向上を図る「生活扶助機能」、草刈りや道普請等により地域の生産活動の維持・向上を図る「生産補完機能」、農林地や地域固有の景観、文化等を維持・管理する「資源管理機能」のこと。
- **就労移行支援事業所** 【P134】
一般企業等への就労を希望する障害者に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業所のこと。
- **就労継続支援(B型)事業所** 【P128, 130, 134】
一般企業等での就労が困難な障害者に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業所のこと。「B型」は利用にあたり雇用契約を結ばないものであるが、ほかに、雇用契約を結ぶ「A型」がある。
- **主要渋滞箇所** 【P35, 84】
平成 24 年度に、山口県における総合的な渋滞対策を目的として、国・県等道路関係機関で構成された「山口県道路交通渋滞対策部会」が中心となり、19 市町の意見やパブリック・コメントの結果及び最新データ等による検証のうえ選定した、交通渋滞箇所のこと。
- **循環型社会** 【P27, 30, 101, 102, 103, 181】
大量生産・大量消費・大量廃棄の地球環境に負荷を与える社会経済システムではなく、省資源・リサイクル・廃棄物の極小化を可能とする産業構造・生活様式・技術革新などを組み込んだ環境への負荷ができる限り低減される新たな社会経済

システムのこと。

- **循環型農業** 【P175, 191】
農業が本来有する自然循環機能を生かし、有機質資源等の循環利用や化学肥料・化学農薬の使用を低減した安全で質の高い農産物の安定生産及び環境への負荷低減を図る農業生産活動のこと。
- **障害者就業・生活支援センター** 【P134】
障害のある人の職業的自立を図るため、身近な地域で、就業とそれに伴う日常生活上の支援を一体的に行う施設のこと。
- **小水力発電** 【P45, 68, 104, 172, 175, 180】
水が落下するエネルギーを用いて発電する、最大出力 1,000kW 以下の比較的小規模な発電設備の総称。
- **少年安全サポーター制度** 【P157, 160, 191】
退職した警察官を少年安全サポーターとして市教育委員会等に派遣し、いじめなどの学校における少年の問題行動への対応、巡回活動、相談活動、児童の安全確保に関する助言を行うなど教育現場と警察とのパイプ役として活動するもの。
- **消費者教育** 【P159, 191】
消費者の自立を支援するために行われる消費生活に関する教育のこと。
- **消費生活相談員** 【P157】
事業者に対する消費者からの苦情に係る相談に応じるため、消費生活センター等に配置される専門的な知識及び経験を有する者のこと。
- **初期救急** 【P148, 189】
入院や手術を必要としない患者への医療提供のこと。休日夜間急患センターや地元医師会の医師が当番で実施する在宅当番医によって行われる。
- **『食事・運動・遊び・読書』90 日元気手帳**【P183】
県教育委員会が作成した、児童が主体性をもって「食事」「運動・遊び」「読書」を中心とした生活習慣の形成・定着を図る 90 日間の実践記録手帳のこと。
- **食品ロス** 【P105, 181】
食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。
- **神経締め** 【P66】
鮮度保持方法の一つ。魚類の頭部・鼻腔部から細い金属線を挿入し、神経(脊椎神経系)を物理的に破壊することにより、死後硬直までの時間を遅延させ、鮮度低下を遅らせるもの。
- **人身安全関連事案** 【P192】
ストーカー事案、配偶者からの暴力事案、行方不明事案、児童・高齢者・障害者虐待事案等の人身の安全を早急に確保する必要の認められる事案の総称。
- **森林クラウドシステム** 【P66, 175】
森林資源情報や木材需給情報などのデータをインターネット上のサーバで管理し、行政機関、林業事業者、民間会社などのユーザーは、パソコンや携帯端末からデータを閲覧、編集、アップロードすることが可能となるシステムのこと。
- **森林バイオマス**
【P60, 61, 66, 68, 102, 104, 172, 175, 180】
森林から得られる植物由来の生物資源のこと。

9

- **水素ステーション** 【P47, 172】
燃料電池車に水素を充填する設備のこと。
- **水田高機能化** 【P61, 68, 175】
従来の暗渠排水に比べて高い機能を持った浅層暗渠や地下水位制御システムによる排水対策により、水田への畑作物の導入を可能にすること。

- **スーパーバイズ体制** 【P183】
心理や福祉等の支援の現場において、個々のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーが、その資質能力の向上のため、より知見の高いスーパーバイザーに指導・助言を受けられる体制のこと。
- **スクールカウンセラー** 【P122, 183】
心の問題の専門家として小・中・高校で、生徒や保護者の悩みを聞き、教員をサポートする専門家のこと。
- **スクールソーシャルワーカー** 【P122, 183】
教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識や技能を用いて、児童生徒が置かれた様々な環境へ働きかけ、関係機関等とのネットワークを活用し、問題を抱える児童生徒の支援を行う専門家のこと。
- **スポーツ医・科学** 【P135, 186】
スポーツや運動について研究する医・科学のこと。体力の限界に挑む競技と健康維持のための運動が研究対象で、医学、生理学、心理学、トレーニング科学等の学際的な学問分野。
- **スマートコミュニティ** 【P104, 180】
電気、熱などのエネルギーを、地域単位で総合的に管理・利用する社会のこと。交通システムや住民のライフスタイルの転換などの取組も複合的に組み合わせられている。
- **スマートファクトリー** 【P45, 172】
地産エネルギー、エネルギー貯蔵技術、省エネ技術を融合させて、エネルギーの安定化・最適化を図り、エネルギー消費量の低減やCO₂排出量の削減を目指す次世代型工場のこと。
- **3R** 【P45, 102, 103, 105, 172, 181】
リデュース(Reduce: 発生抑制)、リユース(Reuse: 再使用)、リサイクル(Recycle: 再生利用)のこと。

世

- **生活交通** 【P82, 83, 84, 85, 86, 178, 179】
地域における通勤、通学、通院、買物などの日常生活に不可欠な身近な公共交通のこと。
- **生活支援サービス** 【P93, 96】
地域住民の日常生活を支えるために必要な買い物支援や配食サービス、見守り・安否確認、身近な生活交通の確保などの各種サービスのこと。
- **青年海外協力隊** 【P187】
政府開発援助予算により国際協力機構(JICA)が実施する事業の一つで、世界の開発途上国で現地の人々と生活しながら、ともに働き、国づくりに貢献するボランティア活動のこと。20歳から39歳までを対象としている。
- **施業集約化** 【P64】
所有者の異なる近接した森林を面的に整備するため、森林組合等林業認定事業体の効率的、計画的な施業提案により所有者の合意形成を図り、路網整備や間伐等の施業を集約的に実施する取組のこと。
- **全国学力・学習状況調査** 【P115, 116, 117】
義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ることを目的として、文部科学省が実施する調査のこと。平成19年度から毎年4月、小学校第6学年、中学校第3学年を対象に実施。(平成23年度は東日本大震災のため中止)
- **全国和牛能力共進会** 【P66, 175】

5年に1回開催される「和牛のオリンピック」と呼ばれる大会のこと。全国各地の産地から出品された和牛が肉質等の能力を競う。次回大会は、平成29年9月に宮城県で開催。

- **潜在看護職員** 【P149】
保健師、助産師、看護師又は准看護師の資格取得者であって、看護職として就業していない者のこと。
- そ**
- **総合周産期母子医療センター** 【P113, 152】
NICU(新生児集中治療室)等を有し、重症妊産婦・新生児への高度で専門的な医療の提供を行う、周産期医療の中核的施設のこと。
 - **総合スポーツ部(仮称)** 【P183】
自分に適したスポーツを通じて、運動習慣の定着を図り、バランスの取れた体の成長を促すことなどを目的に、特定の競技種目に限定することなく、子どもの興味・関心や学校規模等の状況に応じて、多様なスポーツに取り組み活動のこと。
 - **ゾーン30** 【P161】
市街地等の生活道路及び通学路における歩行者等の安全を確保するため、道路管理者と連携して、通過交通の抑制等が必要な地区において、最高速度30Km/h区域規制や路側帯の設置・拡幅等の対策を実施するもの。
- た**
- **大学コンソーシアム** 【P125】
高等教育の質的向上や地域社会への貢献を目的に、複数の大学が構成員となり相互に連携・協力する組織のこと。県内には、山口大学、県立大学ほか大学、大専校など10機関を構成員とする「大学コンソーシアムやまぐち」がある。
 - **体験型教育旅行** 【P90, 91, 96, 97, 176, 179】
児童・生徒が農山漁村でホームステイをしながら行う、農林漁業体験をはじめとした様々な体験活動を取り入れた修学旅行等のこと。
 - **第2期県立高校将来構想** 【P123, 185】
生徒のニーズの多様化や生徒の減少等に対応し、中長期的視点に立って高校教育の質の確保・向上を図るために策定する、今後10年間の本県高校改革の指針となるもの。特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備が主な内容。
 - **体力向上プログラム** 【P183】
県内の各小・中学校が、子どもの体力や生活習慣の実態に基づき、その改善を図るため、子どもの運動場面、体育的な活動及び家庭や地域と連携した取組等をまとめた体力向上の年間計画のこと。
 - **多部制の定時制高校** 【P123】
午前部・午後部・夜間部など、学習時間帯を選択して学ぶことができる定時制高校のこと。
 - **タブレット端末** 【P120】
平板状の外形を備えタッチパネル式などの表示・入力部を持った携帯可能なパーソナルコンピュータのこと。
 - **多面的機能** 【P60, 68】
農林水産業や農山漁村が果たすさまざまな機能のこと。農林水産物等の供給機能だけでなく、国土や環境の保全、自然とのふれあいを通じた教育の場の提供、地域色豊かな伝統文化の継承などの機能がある。
 - **多量排出事業者** 【P102】
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、多量の産業廃棄物を生ずる事業場を設置している事業者と定められた者のこと。



- **地域イノベーション戦略推進地域** 【P40, 44, 45】
地域の強みや特性を生かしながら、研究機関の研究段階から事業化に至るまで、産学公等の参画機関が連携し、持続的・発展的なイノベーションの創出に向けて主体的に取り組む地域のこと。国が選定。
- **地域おこし協力隊** 【P91, 94】
都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を地方自治体が「地域おこし協力隊員」として委嘱し、一定期間、地域おこし活動の支援や住民の生活支援など各種の地域協力活動に従事してもらいながら、その地域への定住・定着を図る取組のこと。
- **地域協育ネット** 【P118, 122】
幼児期から中学校卒業程度までの子どもたちの育ちや学びを地域ぐるみで見守り、支援するための、おおむね中学校区をひとまとまりとした仕組みのこと。
- **地域高規格道路** 【P38, 74, 87, 108, 188】
高規格幹線道路を補完し、地域道路ネットワークの軸を形成する、連携・交流・連結のいずれかの機能を持つ高規格な道路のこと。
- **地域公共交通網形成計画** 【P86, 178】
「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、持続可能な地域公共交通網の形成を図るため、まちづくりとの連携や地域全体を見渡した面的な公共交通のネットワークの再構築等の内容を盛り込んだ計画のこと。
- **地域子育て支援拠点** 【P111, 112】
地域において、子育て親子の交流や相談・助言、情報提供等を行う子育て支援の拠点となる施設のこと。
- **地域コミュニティ組織** 【P92, 93, 94, 96, 97, 179】
一定の地域を基盤とし、共通の属性や意識を持つ人々を構成員として、地域活動を行う団体や組織のこと。人口減少・高齢化が進む中山間地域では、集落単位での地域活動が難しい面もあるため、山口県では、既存の集落の枠を超え、複数の集落が広域的に支え合う新たな地域コミュニティ組織づくりを促進している。
- **地域資源** 【P89, 92, 93, 96, 173, 174, 176, 179, 180】
自然・土地、歴史・文化・伝統、農林水産物、加工産物、人工公物、技術など、地域に備わっているもの、地域から生み出されるものの総称。
- **地域づくりリーダー** 【P94】
地域づくりの中心となるリーダーのこと。山口県では、地域コミュニティ組織の運営に関し、リーダーを1人に限定せず、複数の人がそれぞれの得意分野でリーダー役を担うことが重要との観点から、地域の「リーダー群」の確保・育成を進めている。
- **地域の夢プラン** 【P91, 93, 94, 179】
地域住民自らが、相互の話し合いやワークショップ等を通じて、自主的・主体的に地域の将来像や具体的な目標、行動計画等を定めた地域の将来計画のこと。
- **地域包括ケアシステム**
【P28, 31, 146, 147, 148, 153, 190】
重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制のこと。

- **地域包括支援センター** 【P148, 153】
地域の高齢者の保健医療の向上と福祉の増進を包括的に支援することを目的として各市町に設置される施設のこと。介護予防のマネジメントや、高齢者等に対する総合相談・支援、高齢者の権利擁護などの事業を行う。
- **地区防災計画** 【P145, 188】
市町村の一定の地区内の居住者及び事業者(地区居住者)による自発的な防災活動に関する計画のこと。地区居住者等の意向が反映される地域コミュニティ主体の計画である。
- **地産・地消** 【P60, 61, 62, 174】
地域で生産された農林水産物を、その生産された地域内において消費する取組のこと。
- **治山ダム** 【P139, 142, 188, 189】
山地の河川溪床の縦・横浸食を防止し、溪床の安定、山脚の固定及び土砂流出の抑止・調整を図ることを目的に、コンクリート等を使用して設置する構造物のこと。
- **知識基盤社会** 【P120】
新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会のこと。
- **チャレンジショップ** 【P55】
新たに開業を目指す方等が、一定期間実験的に店を出してみ、事業の見通しがついたら正式に開店することができるよう、商店街等に用意された実験的な店舗のこと。
- **中山間地域**
【P16, 66, 81, 89, 90, 91, 92, 93, 96, 176, 179, 180】
一般的には、平野の周辺部から山間部に至るまとまった平坦な耕地が少ない地域のこと。山口県では、地域振興5法(離島振興法、山村振興法、半島振興法、特定農山村法、過疎地域自立促進特別措置法)の適用地域又は農林水産省の農業地域類型区分による山間農業地域、中間農業地域のいずれかに該当する地域を指す。
- **長州黒かしわ** 【P61, 66, 67, 175】
国の天然記念物「黒柏鶏(くろかしわ)」をベースに山口県が開発した県産オリジナル地鶏のこと。地鶏(じどり)ならではの適度な歯ごたえを残しながらも柔らかくジューシーで、噛めば噛むほど味が出てくる肉質を持ち、旨味成分が豊富で上品な味が特徴。
- **長寿命化計画** 【P139, 143】
維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図るため、具体的な対応方針を定めた計画のこと。



- **ツーリズム** 【P96, 179】
観光旅行や楽しみを目的とする旅行一般のこと。中山間地域においては主に、自然、文化、交流を楽しむ農山村での「グリーン・ツーリズム」や漁村での「ブルー・ツーリズム」、自然環境等の保全を考える「エコ・ツーリズム」が行われており、山口県ではこれらを「やまぐちスロー・ツーリズム」として総合的に推進している。



- **定住自立圏構想** 【P193】
人口5万人程度以上等の要件を充たす「中心市」と「近隣市町村」が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能を確認することにより、地方圏における定住の受け皿を形成するもの。県内では、下関市、山口市、萩市・阿武町、長門市が圏域を形成。

- 定置式燃料電池** 【P47】
発電だけではなく、発電とともに発生する排熱も同時に利用できるようにした燃料電池のこと。
 - DESTINATIONキャンペーン** 【P70, 76, 88, 178】
JR グループと自治体や地域の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーンのこと。山口県では、前回、平成20年7月1日～9月30日に実施。
 - テナントミックス** 【P55】
商業施設の魅力を高めるため、商業施設に不足する業種や業態の店舗を誘致するなどして、最適な店舗の組み合わせを行うこと。
 - デマンド型乗合タクシー** 【P84, 86, 178】
利用者のニーズに応じて、電話予約や区域運行など、柔軟な運行を行うタクシーに準じた利便性と、乗合・低料金というバスに準じた特徴を兼ね備えた移動サービスのこと。
 - 電力小売事業の全面自由化** 【P194】
現在、家庭向けを除き自由化されている電力小売事業への参入が、平成28年を目途に家庭向けも含め全面的に自由化されること。
- ☒
- 統括コーディネーター** 【P118】
中学校区における教育支援活動等について、学校や地域の団体等との連絡調整、協力者の確保等を行い、域内の多様な教育支援活動を推進する者のこと。
 - 特殊詐欺** 【P157】
被害者に電話をかけるなどして対面することなく詐欺、指定した預貯金口座への振り込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪(現金等を脅し取る恐喝も含む。)の総称。その代表的なものが振り込め詐欺。
 - 特殊車両通行許可制度** 【P173】
道路の保全と交通の危険防止を図るため、一定の寸法や重量等を超える車両は、通行を制限しているが、物流の効率化等を目的に制限値を超えた車両について「特殊車両」として道路管理者が許可し通行できることとしている制度のこと。
 - ドクターヘリ** 【P152】
事故や災害時等に、消防機関・医療機関からの要請に対し、直ちに医師・看護師が搭乗して、救急現場に出動するヘリコプターのこと。
 - 特定外来生物** 【P106, 181】
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(外来生物法)により、生態系、人の生命・身体、農林水産業に悪影響を与えると指定された外来生物のこと。原則、飼育、栽培、保管、運搬、販売、譲渡、輸入などを禁止。
 - 特定貨物輸入拠点港湾** 【P36】
石炭等ばら積み貨物の輸入拠点としての機能を高めるべき港湾として、港湾法に基づき、国土交通大臣が指定する港湾のこと。
 - 特定緊急砂防事業** 【P142, 189】
土石流被害が発生した箇所に対して実施する砂防ダムの設置工事(災害関連緊急砂防事業)に加え、被災箇所の安全度をより高めるため、追加して砂防ダムを設置する事業のこと。
 - 特定健診** 【P154】
メタボリックシンドロームに着目した、40歳～74歳の方を対象とした健康診査のこと。
 - 特定不妊治療** 【P113】
不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精による治療のこと。
 - 特別保育** 【P182】
多様化する保育ニーズに対応するための延長保育や保育所等での一時預かりなどのきめ細かな保育のこと。
 - 都市型のサービス産業** 【P49】
一般的に確立した定義はないが、多様化した消費者のニーズを満たすサービス産業や、企業向けの特種で専門的なサービス産業など、大都市ならではのサービス産業で、情報・通信産業、産業支援サービス業などがこれに当たると言われている。
 - 都市機能** 【P16, 82, 85】
医療・福祉・商業施設など、都市の生活を支える機能のこと。
 - 都市計画区域** 【P85】
自然的・社会的条件、人口、産業、土地利用、交通量等の現況とその推移を考慮して、一体の都市として、総合的に整備・開発・保全する必要のある区域のこと。
 - 土砂災害警戒情報** 【P188】
大雨警報発表後に土砂災害の危険度が高まった時、山口県と下関地方気象台が市町ごとに発表する土砂災害に関する防災情報のこと。
 - 土砂災害特別警戒区域** 【P139, 141, 188】
土砂災害のおそれがある区域(土砂災害警戒区域)のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域のこと。
 - 土砂災害防止施設** 【P141, 142, 143, 188】
土石流を止める砂防ダムやがけ崩れを防ぐ擁壁など、土砂災害を防ぐための施設の総称。
 - 土地改良施設** 【P68】
用排水路や農道などの施設で、農業生産を支える施設の総称。
 - トップセールス** 【P40, 62, 72, 73, 74, 75, 175, 177】
組織の代表による宣伝販売活動のこと。
- ☓
- 南海トラフ地震** 【P18, 138, 188】
南海トラフ(静岡県駿河湾から九州東方沖までの約700kmにわたって続く深い溝状の地形)沿いで発生する大規模な地震のこと。これまで100～150年周期で発生し、今後30年以内の発生確率は70%程度とされている。
- ☒
- 二次医療圏** 【P18】
地理的条件、生活事情、交通事情などから、一体の区域として入院医療の提供体制を確保するための区域のこと。
 - 二次救急** 【P148, 189】
入院や手術を必要とする患者への医療提供のこと。複数の病院が当番日を決めて実施する病院群輪番制病院や、病院の施設や機能を地域の医師に開放し、地元医師会の協力により実施する共同利用型病院によって行われる。
 - 二次交通** 【P70, 74, 76, 88, 176】
空港や鉄道の主要駅から観光目的地までの交通のこと。
 - 2025年問題** 【P9, 18, 153】
平成37年(2025年)に団塊の世代が75歳以上になることに伴い、医療や介護を必要とする方が増えることにより起こる問題のこと。
 - 日本遺産** 【P78, 176】
地域に点在する史跡・伝統芸能など有形・無形の文化財をパッケージ化し、我が国の文化・伝統を伝える遺産として認定したもの。

- 認可外保育施設 【P182】
都道府県知事等が認可をしている保育所等以外の、保育を行うことを目的とする施設の総称。
- 認知症疾患医療センター 【P190】
保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断や、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修等を行う機関のこと。
- 認知症サポーター 【P119, 148, 153】
認知症に関する正しい理解や認知症の人に対する接し方を学ぶ講座を修了し、認知症の人やその家族を地域で温かく見守り支援する者のこと。
- 認定NPO法人 【P94, 179】
「特定非営利活動促進法」に基づき、運営組織や事業活動が適正であり、公益の増進に資するものとして知事の認定を受けたNPO法人のこと。寄附金に関する税制上の優遇措置を受けることができる。
- 認定職業訓練制度 【P177】
事業主等の行う職業訓練のうち、一定の基準に適合するものについて、職業能力開発促進法に基づき、知事の認定を受けることができる制度のこと。
- ☑
●燃料電池自動車 【P47, 104, 172】
- 燃料電池バス 【P47】
- 燃料電池フォークリフト 【P47】
水素と酸素の化学的な結合反応から電気を発生させる燃料電池により、モーターを回して走る自動車のこと。燃料電池フォークリフトや燃料電池バスも同じ仕組み。
- ☑
●農業用ダム 【P68, 175, 180】
農業用水の安定供給等を図るためのダムのこと。
- 農山漁村女性企業 【P64, 131, 175, 186】
「やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク」加入者で、地域における持続可能な中核経営体として活動し、年間売上額がおおむね1,000万円以上となる法人経営体のこと。
- 農商工連携 【P27, 60, 61, 62, 96, 97, 174】
中小企業者と農林漁業者の経営の向上・改善を図るため、両者が持っている設備・技術・知識などの経営資源を互いに持ち寄り、新商品や新サービスの開発、生産などを行い、需要の開拓を行う取り組みのこと。
- 農道橋 【P144, 188】
河川等を横断するため、農道に設置された橋のこと。
- 農林漁家民宿 【P91, 96, 97】
農林漁業者が、旅館業法等の営業許可を受けて、副業として経営する簡易宿所等のこと。
- ノンステップバス 【P84, 86, 178】
床面を超低床構造として乗降ステップをなくした、障害者や高齢者等にも乗り降りが容易なバスのこと。
- ☑
●排水機場 【P142, 143, 144, 188, 189】
高潮時などに、河川や水路への逆流を防止するための水門と、大雨によって増水した河川や水路の水を海などへ強制的に汲み出すためのポンプ場等の施設の総称。
- ハザードマップ 【P139, 140, 141, 142, 179, 188】
災害時に、住民が迅速かつ安全に避難し、人的被害を最小限度に食い止めることを目的として、予

想される被害の程度や避難情報等の各種情報を分かりやすく表示した地図のこと。津波、高潮、洪水、土砂災害などのハザードマップがある。

- HACCP 【P158】
危害分析重要管理点(Hazard Analysis and Critical Control Point)の略。アメリカで開発された高度な衛生管理手法で、原料の受入れから製造・出荷までの全工程において危害防止につながるポイントをリアルタイムで監視・記録することにより、すべての製品の安全を確保するシステム。
- 8020運動 【P154】
80歳になっても自分の歯を20本以上保つことを目標とする取組のこと。
- パブリック・コメント 【P193, 212】
県の施策に関する基本的な計画等を策定する過程において、計画案等を県民に公表し、それに対する意見を求める制度のこと。
- 犯罪インフラ 【P192】
犯罪を助長し、又は容易にする基盤のこと。不法滞在者等に在留資格を不正取得させる手段となる偽装結婚・偽装認知等のようにその行為自体が犯罪となるもののほか、それ自体は合法であっても、詐欺等の犯罪に悪用されている各種制度やサービス等がある。
- 犯罪インフラ事犯 【P192】
携帯電話や銀行口座を不正に取得する詐欺事件等、犯罪インフラの構築に資する犯罪のこと。
- 搬出間伐 【P68, 175】
採算性の見込める林地で間伐を行い、間伐材を搬出するもの。搬出方法としては、架線集材と、森林作業道を開設し高性能林業機械を使う方法がある。
- ハンブ 【P191】
自動車を減速させて歩行者または自転車の安全な通行を確保するために、道路の路面に設置された凸部(盛り上げられた部分)のこと。
- ☑
●PM2.5 【P16, 102, 107, 181】
大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、粒径が2.5 μm (μm =100万分の1m)以下のものこと。燃焼によるばいじんや自動車排ガスなどから発生するとされている。
- BCP 【P174】
事業継続計画(Business Continuity Plan)の略。企業が自然災害などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画。
- ひきこもり地域支援センター 【P190】
ひきこもり本人や家族の支援のため、地域における支援体制の整備や段階に応じた支援を実施する相談機関のこと。精神保健福祉センターに設置。
- 非構造部材 【P123, 184】
天井材や外壁、外装材などの建築非構造部材や設備機器、家具等など、構造体(建物を支える骨組み)と区分した部材のこと。学校施設での地震時における子どもたちの安全確保の観点から、落下、転倒防止等の対策が求められる。
- ビブリオバトル 【P183】
「ビブリオ」は本、「バトル」は戦いという意味。

「書評合戦」とも言う。小学生から大人まで参加できる本の紹介コミュニケーションゲームで、一人5分で本を紹介し、最後に参加者の投票で1番読みたくなった本を選ぶ。

- 病児・病後児保育** 【P111, 112】
病気や病後の子どもを、保護者が家庭で保育できない場合に病院などに付設されたスペース等で一時的に行う保育のこと。
- 表示適正事業所** 【P158】
山口県食の安心・安全推進条例に基づき、適正表示に関する管理体制基準を満たしていると知事が認定した事業所のこと。事業者による食品表示の適正化を促進する制度となっている。



- 福祉総合相談支援センター** 【P114】
中央児童相談所、知的障害者更生相談所、身体障害者更生相談所、精神保健福祉センター、発達障害者支援センターを統合して新設する、福祉に関する総合的な相談・支援機関のこと。
- ぶちうちま売込隊** 【P60, 62, 63, 174, 177】
やまぐちブランド商品や6次産業化商品を効果的に売り込むため、県や生産者団体などで構成した組織。首都圏や関西圏への戦略的な情報発信や国内外でのフェアなどを実施する。

- ブックトーク** 【P183】
あらすじや著者紹介などを交えて、本への興味がわくような工夫を凝らしながら本の紹介をすること。

- 物流拠点港湾** 【P35, 36, 173】
国際海上貨物輸送網または海上輸送網の拠点となる港湾であって、山口県の強みである瀬戸内産業の再生・強化に直結する産業基盤となる6港(徳山下松港、岩国港、三田尻中関港、宇部港、小野田港、下関港)のこと。

- 不特定多数の者等が利用する大規模建築物** 【P138, 144, 188】
病院、集会場、百貨店、ホテル・旅館等、不特定かつ多数の者が利用する大規模建築物や小学校、老人ホーム等、地震の際の避難確保上特に配慮を要する者が主として利用する大規模建築物の総称。

- プラットフォーム** 【P64】
新規就業者が地域に定着していく際の拠点や受け皿となり得る農業経営体のこと。



- 放課後児童クラブ** 【P111, 112, 129, 182】
保護者が就業などで昼間家庭にいない児童などに、安心な遊びや生活の場を設け、児童の健全な育成を図るもの。
- ポジティブ・アクション** 【P131】
男女間の格差を改善するため、男女のいずれか一方に対し、活動する機会を積極的に提供すること。

- ポータルサイト** 【P73】
インターネットを利用する際の玄関口となるウェブサイト(ホームページ)のこと。山口県では、県ホームページのさまざまな情報を、県外の方向けなどに整理したポータルサイトを作成し、利用者が求める情報をより早く入手できるよう取り組んでいる。



- ミドルリーダー** 【P184】
組織的な学校運営のために教職員のリーダーとなる中堅の教員のこと。

- ミラノ国際博覧会** 【P62, 174】
イタリアのミラノで「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに、2015年5月1日～10月31日の期間に開催される国際博覧会のこと。日本は「共存する多様性」をテーマに「日本館」を出展。山口県も5月24日～27日の4日間、「世界に届けます 山口の食・文化・匠の技」をテーマに、日本館イベント広場に出席。

- 民間教育訓練機関** 【P177, 190】
県からの委託を受けて職業訓練を実施する、専門学校等の教育訓練機関のこと。



- 無電柱化** 【P142, 176, 188】
電力線や通信線等を収容する電線共同溝などの整備により電線類を地中化するなど、道路から電柱をなくすこと。これにより、道路空間が開放的できれいになったものとなり、良好な景観形成が図られる。さらに、台風や地震等の災害時に、電柱が倒れたり、電線が垂れ下がったりといった危険をなくすことなども目的とする。



- メタボリックシンドローム** 【P154】
腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上の内臓脂肪型肥満に加え、高血糖、高血圧、脂質異常のいずれか2つ以上に当てはまる状態のこと。1つでも該当すれば「予備群」といわれる。



- 木質ペレット・ボイラー** 【P68, 69】
木質ペレット(木材等を粉砕、高圧で圧縮し、円筒状にしたもの)を燃料とするボイラーのこと。冷暖房や給湯、温泉加温、農業用ハウス暖房等に利用。

- ものづくり支援チーム** 【P56】
(地独)山口県産業技術センターに設置し、同センター職員で構成されるチームのこと。地域の魅力を活かした中小企業の製品開発に対し、企画段階から参画することで、県内企業の“新たなものづくりへの挑戦”を支援するもの。



- 薬用作物** 【P66, 175】
植物体またはその抽出成分を医薬として用いる薬用植物を農作物として栽培するもの。

- やまぐちイクメン応援企業宣言** 【P111, 112, 129, 131】

男性が育児参加に取り組むことを、企業が宣言するもの。男性従業員をはじめ、職場の上司、同僚等を含め、男性が育児に参加しやすい雇用環境づくりを推進し、その取組を広く紹介するために県が創設した。

- 山口型放牧** 【P175】
転作田や耕作放棄地などに電気牧柵等を設置して牛を放牧すること。遊休地の解消による農地保全や肉用牛経営の省力化などを通じて、地域の活性化を目指している。

- 山口県応援隊東京本部** 【P72, 98】
在京の同郷会、同窓会その他山口県ゆかりの団体をもって構成された組織のこと。

- 山口県人材育成基本方針** 【P164, 193】
長期的かつ総合的な観点で職員の能力開発を効果的に推進するため、山口県における人材育成の目的、方策等を明確にしたもの(平成11年3月策定、平成20年3月改定)。

- 山口県優秀技能者** 【P177】
広く社会一般に技能尊重の気運を醸成し、技能者

の地位並びに技能水準の向上を図るため、特に優れた技能者を「山口県優秀技能者」として知事が表彰するもの。

●やまぐち子育て応援企業宣言

【P111, 112, 129, 131】

企業が届け出て、一般事業主行動計画の実施により達成しようとする目標を宣言(公表)するもの。男女がともに働きながら安心して子どもを生育できる雇用環境づくりに取り組む企業を奨励・支援し、その取組を広く紹介するために県が創設した。

●やまぐち子育て県民運動 【P111】

社会全体で子どもや子育て家庭を支える環境づくりを進めるため、平成15年8月から山口県独自に取り組んでいる、県民総参加で子育て支援の輪を広げる運動のこと。

●やまぐち子育て県民運動サポート会員

【P111, 129】

「やまぐち子育て県民運動」の趣旨に賛同し、子育て応援団や結婚応援団として登録し、子育てや結婚支援の活動を行う団体等のこと。

●やまぐち子育て連盟 【P112, 182】

若い世代が希望を叶え、安心して結婚し、妊娠・出産、子育てができる切れ目ない支援を、やまぐち子育て県民運動として、企業、地域、行政等が、協働して展開する団体のこと。社会全体で子どもや子育て家庭を支える気運の醸成を図っている。

●山口CSコンダクター 【P118, 119】

小・中学校運営協議会の体制づくりや小中連携の取組充実を支援するとともに、学校と地域の連携を図るなど、コミュニティ・スクールの指導・支援を行う者のこと。モデル中学校区を中心に活動を行っている。

●やまぐち障害者雇用推進企業認定制度

【P134, 187】

障害者雇用に対する企業や県民の理解と関心を深め、障害者雇用をさらに促進するため、障害者の雇用に積極的に取り組んでいる企業等を「やまぐち障害者雇用推進企業」として認定し、その取組内容を県ホームページ等で広く紹介する制度のこと。

●やまぐち情報スーパーネットワーク(YSN)

わいすえすえぬ

【P179】

県民生活の向上、地域の振興、情報発信機能の強化の3つの視点から、豊かで活力あふれる情報先進県の創造に向けて、全県的な高速通信ネットワークとして県が整備した光ファイバ網のこと。

●やまぐち森林づくり県民税 【P68, 165, 175】

県土保全や水源かん養など多面的な機能を有する森林を県民共通の財産として次世代に引き継ぐため、荒廃した森林の再生や竹の繁茂防止等の森林整備を重点的に推進することを目的に、平成17年度に導入した山口県独自の税制度のこと。

●やまぐちスロー・ツーリズム 【P96, 97, 176, 179】

→「ツーリズム」を参照。

●やまぐち中山間応援隊 【P94, 179】

中山間地域づくりと地域の元気創出を応援するため、企業や民間団体、大学、県民、県庁中山間応援隊など幅広い人材によって構成された、全県的な組織のこと。中山間地域での支援活動や、地域住民との協働を通じた交流等を行う。

●やまぐちブランド 【P60, 62, 66, 174】

県内で生産される農林水産物及び主な原材料が県産100%の加工品を対象に、味や品質を重視し

た独自の基準を設け厳選した商品のブランドのこと。

●やまぐちブランド技術研究会 【P53, 173】

産学公が連携して「ものづくり基盤技術の高度化・ブランド化」を推進することを目的とし、(地独)山口県産業技術センターに設置した、原則、県内企業で構成される研究会のこと。

●山口ふるさと大使 【P72, 175, 177】

日頃のさまざまな活動を通じて山口県の魅力を発信してもらうため、県にゆかりのある著名な方を「山口ふるさと大使」として任命するもの。

●山口マイスター 【P56, 177】

技能者の地位及び技能水準の向上を図るため、ものづくりの分野において優れた技能を有し次世代技能者の育成に意欲がある者を「山口マイスター」として知事が認定するもの。

●やまぐち夢づくり産業支援ファンド 【P62】

技術力のある中小企業や農工商連携等に取り組む企業を資金面から支援するため、やまぐち産業振興財団と金融機関が共同出資により創設した投資ファンドのこと。

●やまぐち和牛 【P66, 67, 175】

県が育成した種雄牛を父親に持つ、県内で生まれ、育てられた黒毛和牛のこと。また、そのブランド。

●やまみちゃん 【P64】

「やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク」が管理運営する「やまぐち農山漁村女性起業統一ブランド」の愛称。農山漁村女性が暮らしの中で培った知恵や技、地域の農林水産物を活用した商品であることの証である。



●Uターン

【P27, 72, 89, 90, 91, 98, 99, 132, 180, 187】

都市などに住んでいる人が、出身地など別の地域に移り住むことの総称。出身地から地域外へ転出後、再び出身地に移り住むことを「Uターン」、出身地の近隣地域に移り住むことを「Jターン」、出身地にこだわらず住みたい地域を選択して移り住むことを「Iターン」という。

●優良産業廃棄物処理業者 【P45】

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物処理業の実施に関し優れた能力及び実績を有する者の基準(優良基準)に適合するとして都道府県知事・政令市長の認定を受けた産業廃棄物処理業者のこと。

●豊かな流域づくり 【P102, 106, 181】

流域に関わる全ての主体が協働・連携して進める流域づくりの取組で、森・里・川・海を育み、また、森・里・川・海に育まれながら、ふるさとの川でつながる循環共生型社会を目指すもの。



●容器包装廃棄物 【P105】

商品の容器(商品を入れるもの)や包装(商品を包むもの)で、商品が消費等された場合不要になった一般廃棄物のこと。

●4つの基幹学科 【P123】

工業に関する学科のうち、機械系・電気系・建設系・化学系の4つの分野に関する学科のこと。

●予防保全型維持管理 【P143】

損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る維持管理手法のこと。

支援をワンストップで行う施設のこと。県が平成16年4月にJR新山口駅前に設置。

ろ

- リスクコミュニケーション** 【P158, 191】
リスク要因やそのリスクを低減するための取組について、消費者、生産者・事業者、専門家などが情報を共有しつつ、それぞれの立場から意見や情報を交換すること。リスクに関する正しい知識と理解が深まり、リスク低減に向けた取組を有効に機能させることができる。
- 流下能力** 【P142】
大雨の時に川が最大限流すことのできる流量(m³/s)のこと。
- 林業認定事業体** 【P64, 175】
「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき、雇用管理の改善及び事業の合理化を一体的に図るための「改善計画」を作成し、知事の認定を受けた事業体のこと。
- 臨床研修** 【P149】
医師免許取得後の2年間、診療に必要な基本的な知識や技能の習得のために行う研修のこと。

れ

- レッドリスト** 【P106】
専門家で構成する検討委員会がまとめた、野生生物の種の絶滅の危険度の評価一覧表のこと。生物学的観点から科学的・客観的に評価している。
- 連携中枢都市圏構想** 【P193】
「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で打ち出された、新たな都市圏構想のこと。人口減少・少子高齢社会において、一定の圏域人口を有しつつ、活力ある社会経済を維持するため、市町が連携して圏域を形成していくこととしている。総務省の「地方中枢拠点都市圏」、国土交通省の「高次地方都市連合」、経済産業省の「都市雇用圏」の都市圏構想を統一するものでもある。

ろ

- 6次産業化** 【P26, 27, 33, 60, 61, 62, 96, 97, 174, 179】
農林漁業者が、1次産業としての生産に加え、2次産業としての製造業、3次産業としてのサービスや販売業を総合的に展開することで新たな付加価値を生み出し、所得の向上や地域雇用の創出により、農山漁村地域の活性化を目指す取組のこと。
- 路網** 【P69, 175】
造林・保育・木材生産等の施業を効率的に行うための道のこと。一般車両の走行を想定した「林道」、普通自動車(10トン積程度のトラック)や林業用車両の走行を想定した「林業専用道」、フォワーダ等の林業機械の走行を想定した「森林作業道」からなる。

わ

- ワーク・ライフ・バランス** 【P186】
やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などでも、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じた生き方をすること。
- 我がまちスポーツ** 【P130】
おいでませ！山口国体・山口大会の際に、市町において開催された競技等の中から当該市町が選定したスポーツのこと。地域の人材やスポーツ施設等を活用しながら地域に根付かせ、推進を図るもの。
- 若者就職支援センター** 【P129, 132, 187, 190】
おおむね40歳未満の若者及びUターン希望者のための情報提供・相談・能力開発・職業紹介等の